2013. 3. 13





強相関電子系における 軌道混成秩序とその外場応答 - プロジェクト進捗状況 -

Condensed matter research center (CMRC) Photon Factory, IMSS, KEK







軌道混成の変調構造







Electron degrees of freedom

Various remarkable physical properties

High *Tc* superconductivity, Colossal magnetoresistance effect, Gigantic magnetoelectric effect,

•••••

軌道混成状態の解明を通じた 構造物性研究

共鳴軟X線散乱







混成に関与している2つの元素の 共鳴X線散乱

Direct info. of T*3d* & 0*2p* in soft x-ray region 遷移金属酸化物: T*3d-02p* 軌道混成 希土類金属化合物: *p-f* 混成, *c-f* 混成 分子性導体: *p-d* 軌道混成



放射光・中性子・ミュオンを相補的に利用した構造物性研究

CMRC 研究会

2013.3.12-13



「構造物性研究の現状と今後の展開 ー共鳴軟X線散乱を中心に-」

<3月12日>	1.5	
B EF: HEANING 3d遷移金属	1	
10:15-10:20 村上洋一(KEK-PF/CMRC) 「はじめに」	1	16:1 東大物性研) 75 5 1上中日日日
10:20-10:45 富安啓輔 (東北大学高等教育開発推進センター)	2	「フーー」分子性物質の構造物性」
「希薄不純物置換や電子ドープで作る LaCoO3の新たなスピンクロスオーバー」	i.	16:4 (KEK-PF/CMRC)
10:45-11:10 岡本 淳 (KEK-PF/CMRC)	1	「共 有機導体β-(ET)2PF6の電荷秩序状態」
「共鳴X線散乱による室温強磁性Sr ₃ YCo ₄ O ₁₀₅ の電子状態研究」	i.	17:0 (KEK-PF/CMRC)
11:10-11:35 藤岡 淳 (東大)	1	「共鳴軟 X 線散乱による有機強誘電体 TTF-CA の電子状態観測の試み」
「ペロプスカイト型LaCoOs 薄膜におけるストレイン誘起フェリ磁性とスピン・動道秩序の観測」	i.	17:30-17:55 石橋章司 (産総研ナノシステム)
11:35-12:00 山崎松一 (KEK-PE/CMRC)	1	「有機強誘電体 TTF-CA 他における XANES Yペクト みぼめ わる Shi
「 4λ 財軟 X 線出鳴数 4 に LA LaCoOa 遊覧の磁気・動道 社民	i.	17:55- 中尾朗子 (CROSS)
	1	「J-PARC の単結晶回折計による中性子構造解析の現状」
座長: 石原純天	11	
13:30-13:55 打田止輝 (コーネル大)	1	
「共鳴X線飲乱による層状ヘロフスカイト型 N1酸化物の磁気・軌道秩	1	座長:山崎裕一 中日,中日,之日,之日
13:55-14:20 須田山貴亮 (KEK-PF/CMRC)	۱.,	9:00-9:25 花咲徳亮 (大阪大学理学研究科物理学専攻)
「磁場下共鳴軟X線散乱による人工超格子 Mn 薄膜の研究」	4	「パイロクロア型ニオブ酸化物のニオブ変位の局所秩序」
14:20-14:45 奥山大輔(理化字研究所交差相関物性科字研究グループ)		9:25-9:50 岩佐和晃 (東北大院理物理)
「ペロプスカイト Mn 酸化物超格子のフウエフリンジの減衰として観測 しいまた。 Y CF14C の電荷軌道	1	「全対称型f電子自由度による相転移と揺らぎの効果」
		9:50-10:05 中尾裕則 (KEK-PF/CMRC)
14:45-15:10 宫坂茂樹 (大阪大学大学院理学研究科)	8.1	「土电 Y 線影到にたる D_{2} P_{12} D_{22} の全層・非全層転移の研究」
「ペロプスカイト型バナジウム酸化物におけるランダムネスによる磁気・軌道秩序制御と	1	「天場 A 赤訳品による I Hut 12 () 並属 外並属転() () () ()
キャリアドービングによるモット転移近傍の2次元スビンゆらぎによる臨界異常」	1.1	10-05-10-50 (東八村 県際)/
15:10·15:30 勝滕拓郎 (早稲田大学)	i.	▲ 歴大 開臨 ス 取 乱 夫 駅 に よ る ハイ ロ / ロ / ビ / ビ / ビ / ソ ン ソ ム 既 1 初 の 酸 気 悟 垣 の 伏 足 」 10000 10055 (明 母 洪) (北 安 漢 上 送 上 送 比 毋 労 可 次 時)
擬三角格子上にある t _{2g} 軌道が生み出す新奇物性」	1	10:30-10:55 網琢浩 (北海道大学大学院理学研究院)
15:30-15:55 寺崎一郎 (名古屋大学)	1	「共鳴・非共鳴 X 線回折による URu ₂ Si ₂ の隠れた秩序相の解明」
「面共有三量体構造をもつ遷移金属酸化物の構造と機能」		



強誘電性発現の微視的理解

電荷移動錯体: TTF-CA



フロンティア軌道の電子状態の解明





K. Kobayashi et al., PRL 108 (2012) 237601.





分極発現に関わる電子状態の解明を目指して



RXS

(010): F1-F2

対称性の破れに関わる 電子状態の解明

単にNI転移だけでは、 空間群は変化なし

2₁.1の破れ 分極の発現・Dimer化

(N) TTF-CAの分極発現機構





- 外部電場と - イオン変位による - 分極の向きが逆

大きな電気分極の起源



H. Yamada et al., PRB 81 (2010) 014410.



磁場下共鳴軟X線散乱実験を目指して

超伝導磁石搭載型軟X線2軸回折計



7.5Tまでの磁場下実験が可能に





薄膜化により初めて出現した巨大磁気抵抗効果の起源

Synchrotron radiation
X線回折、共鳴X線散乱

共鳴軟X線散乱

Neutron 磁気散乱



中性子反射率測定, 超低速ミュオン....

相補利用による電荷・磁気状態の多面的な解明が可能に!

人工超格子: [(LaMnO₃)_m(SrMnO₃)_m]_n バルク試料では未報告の電荷・磁気相

新たな巨大磁気抵抗効果の可能性

